

草加市立歴史民俗資料館

れきみんだより vol.4



国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」

企画展「『おくのほそ道』から草加松原へ」開催

開催期間：平成31年3月16日（土）～4月10日（水） / 月曜休館 / 入場無料

草加市のシンボルである草加松原が、平成26年（2014）3月に国名勝「おくのほそ道の風景地」の一つに指定されてから、早いもので5年が経ちました。

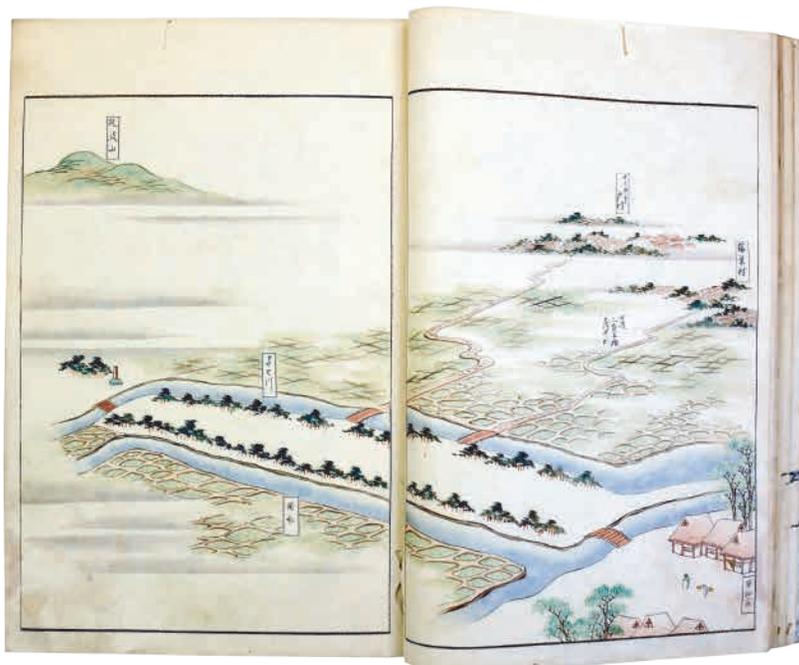
国名勝に指定されて以来、以前にも増して、草加松原には、市内外より多くの観光客が訪れるようになりました。隣接する旧草加宿通りと合わせて、草加の歴史文化に触れる方が多くなったことは大変うれしく思います。

また、名勝地としての保護事業も始まっています。平成29年（2017）には草加松原の保存・活用・整

備などを行っていく上での基本方針をまとめた『国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」保存活用計画』が策定されました。現在は、具体的な整備内容を網羅した整備計画の策定に向け検討しており、一步一步、着実な取組が進められています。

今回の企画展では、『おくのほそ道』における草加の位置付けや江戸時代から受け継がれてきた草加松原の軌跡を紹介します。

ぜひ、ご覧いただいて、国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」について理解を深めていただければと思います。



『日光巡拝図誌』は、江戸庶民の長喬ら4名が日光東照宮を参詣し、江戸新橋に帰るまでに見聞きしたことを記した道中記録です。また、各地の名所が淡彩画に描かれ、挿絵に用いられています。

文化15年(1818)4月12日、雨のなか江戸日本橋を出発した長喬一行は、千住宿を経て草加宿に至りました。

草加宿では、宿の中ほどに屋敷を構える大川牛蔵が日光門主を見送る場面に遭遇しています。長喬は、大川家が先祖代々、茶の湯をたしなみ、今も江戸から訪ねてくる人がいることを記しつつ、大川家屋敷の造りが表千家6代目である覚々斎(号は原叟)の影響を受けたものであるとして、覚々斎が紀州徳川家に仕え、江戸勤番だったときに大川家に招かれたことがあったのではないかと推察を記しています。長喬の茶の湯に対する見識の深さをうかがうことができる場面です。

その後、草加宿を出た長喬一行は草加松原の風景を眺望します。草加宿の北辺、綾瀬川に沿って延びる日光道中沿いに生い茂るマツは、寛政

4年(1792)に苗木1,230本を植樹して以降、幕末にかけて度々補植を繰り返しており、長喬が訪れたころの草加松原には、500本前後のマツが植えられていたと考えられています。

草加松原を眺めた感想は、「宿を出はなれて小松原左右、川有て風景よし。松原凡拾貳三町、左は此辺の用水なり。右はあやせ川、岩附辺より流れ来り、末は隅田川に入る」と記されるとともに、その風景が挿絵として描かれています。挿絵には、現在は暗渠となっている用水路の「佐藤落」も描かれており、江戸時代の草加松原の風景をうかがい知ることができます。

江戸時代に草加松原を描いた芸術作品は少なく、長喬がその風景を愛で、淡彩画として記録に留めていることは、日光道中を赴く旅人によって、草加松原が「名所」としてとらえられていたことの一端を示していると考えられます。

草加松原の歴史を考えていく上で、『日光巡拝図誌』は貴重な歴史資料と言えるでしょう。

◆れきみん歳時記（平成30年10月～平成31年1月）◆
歴史民俗資料館で開催した講座やイベントなどの取組を紹介します

10月 昔日の面影を訪ねて



20日（土）、市制施行60周年記念事業として、「歴史散歩」を開催しました。参加者は、古い写真や航空写真を見比べながら、実際に歩いてみて、街並みの変化を感じ取っていました。

12月 手作り凧が空を舞う



15日（土）、れきみん体験教室「凧づくり」を開催し、今年も多くの方に参加いただくことができました。当日は天気にも恵まれ、みんなの手作り凧が青空に舞いました。

11月 welcome to Night Museum



9日（金）、16日（金）の2日間、開館時間を夜8時まで延長して、ナイトミュージアムを開催しました。当日は、展示解説や蓄音機コンサート、フルート演奏会を催し、日中とは違った雰囲気になりました。

1月 福笑いで大笑い！？



5日（土）、昔あそび大会が開催されました。今年は職員が作成したオリジナル福笑いを初お披露目しました。みんなの作る福笑いがおもしろく、笑いの絶えない昔あそび大会となりました。

◆企画展の次回予告

タイトル：「端午の節句展」

開催期間：平成31年4月23日（火）～5月19日（日）

今年の「端午の節句展」は、市民の方々が作成した手作り五月人形やつるし飾りを展示します。また、開催期間中は、鯉のぼりを揚げるほか、5月5日（日）の子供の日は野点を開催し、来館者にお抹茶を振る舞います。



昨年の展示風景

◆れきみん講座のお知らせ

歴史民俗資料館では、多くの方に草加地域の古代から近代までの歴史を幅広く学んでいただく「れきみん講座」を開催しています。

3月は、企画展講座として、市職員が国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」の保存と活用についてお話しさせていただきます。

題名：「草加松原の歴史とこれからの保存活用」

講師：草加市教育委員会生涯学習課職員

日時：平成31年3月20日（水）

午後2時から午後4時

定員：60名

申込：3月6日（水）より電話にて受付

草加市立歴史民俗資料館 facebook やってます！！

皆さんに草加市の歴史や文化、歴史民俗資料館の活動を伝えたくて公式フェイスブックページを開設しています。様々な情報を発信していきますので、ぜひご覧ください！

草加市立歴史民俗資料館

市公式ホームページ内の SNS ページまたは隣の QR コードからアクセスすることができます！



草加市立歴史民俗資料館

【開館時間】 午前9時～午後4時30分

【休館日】 月曜日（祝日または振替休日の場合は翌平日）
年末年始

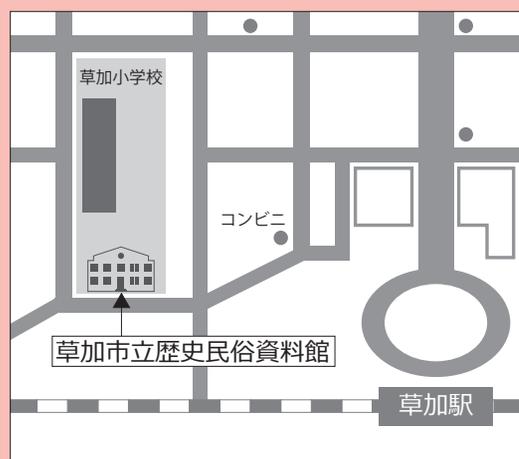
【入館料】 無料

〒340-0014

埼玉県草加市住吉一丁目11番29号

TEL:048-922-0402 FAX:048-922-1117

E-mail:sokarekimin@city.soka.saitama.jp



東武スカイツリーライン「草加駅」東口徒歩7分
駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

れきみんだより vol.4

発行日：平成31年（2019）2月10日 編集・発行：草加市立歴史民俗資料館